

祝 春の叙勲受章



旭日小綬章
【地方自治】
大島 文男さん
(境林)

1995年から6期連続で矢板市議会議員を務め、議長や農業委員会会長などを歴任されました。



瑞宝双光章
【消防】
藤田 實さん
(鹿島町)

1969年に矢板市消防団に入り、消防団長や栃木県消防協会理事などを歴任されました。



藍綬褒章
【調停委員】
村上 周司さん
(安沢)

民事調停委員、司法委員、大田原調停協会理事などを歴任されました。

4/17 (金) マスク不足の解消に

市内で省エネや環境関連製品の製造や販売を手掛ける(株)日省エンジニアリングから、マスク5,000枚が寄附され、同社の平久井社長からは「マスク不足で困っているところに役立ててほしい」との話がありました。

寄附されたマスクは、市内の医療機関、歯科医院、高齢者・障がい者福祉施設など58事業所へ配布され、特別養護老人ホームやしお苑、関谷課長からは「マスク不足で困っていたため、とてもありがたい。感染予防に役立てたい」との話がありました。



▲ (左) 日省エンジニアリング 平久井社長
◀ (左) やしお苑 関谷課長

5/8 (金) 子どもたちのために

東小・矢板中にある共同調理場の調理員が、給食を提供できない臨時休校の期間を利用し、児童生徒に配布するマスクを手作りしました。マスクは学年によって異なる子どもたちの顔にもフィットするよう、大きさ・形を変えるなどさまざまな工夫をしながら作られていました。

調理員の方たちからは「学校に来ている子どもたちの顔を思い浮かべながら作っています。学校が早く再開し、子どもたちにおいしい給食を食べさせてあげたい」と話していました。



▲ 東小学校でのマスク作りの様子
◀ 矢板中学校でのマスク作りの様子

5/9 (土) 青い光で感謝を

新型コロナウイルス感染症拡大防止の最前線で働く医療従事者への感謝と、市民の皆さんの感染予防に対する再確認となるようにとの願いが込められた青い光で、長峰公園シンボルタワーが包まれました。タワーの照明設備は、東日本大震災で被災し使用不可能となっていたが、改修にかかる費用相当分を針生の大進電気工事(株)から寄附していただきライトアップすることができました。

同社の菅野社長からは「医療従事者への感謝、1人ひとりが改めて感染予防に取り組んでほしい」と話がありました。

